



音威子府村ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界各地で猛暑や台風、集中豪雨など地球温暖化に起因するといわれている自然災害が頻発、激甚化しています。

こうした気候変動は、私たちの安全安心な日常生活や生命、財産を脅かすだけでなく、自然環境や生態系への悪影響を及ぼしており、その対策は喫緊の課題となっています。

2015年12月に合意されたパリ協定では、「平均気温の上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分下方に抑えるとともに1.5℃に抑えるための努力を継続する」との目標が国際的に広く共有されるとともに、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、この目標を達成するには「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

2020年10月26日の内閣総理大臣所信表明においても「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」が宣言されました。

また、北海道では、地域資源を最大限活用しながら、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進める「ゼロカーボン北海道」の実現を目指すこととされました。

以上の情勢を受け、音威子府村は「森と匠の村」として、緑こい山なみと水豊かな天塩川のもと、自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくりに向け、村民や事業者の皆さまと一体となって、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに宣言します。

令和5年（2023年）3月7日

音威子府村長

佐近 勝